

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Bコート 第4試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA				チームB
県立新潟商業	86	$\left\{ \begin{array}{l} 16 - 11 \\ 24 - 6 \\ 25 - 27 \\ 21 - 23 \end{array} \right\}$	67	県立八戸西高
新潟				青森

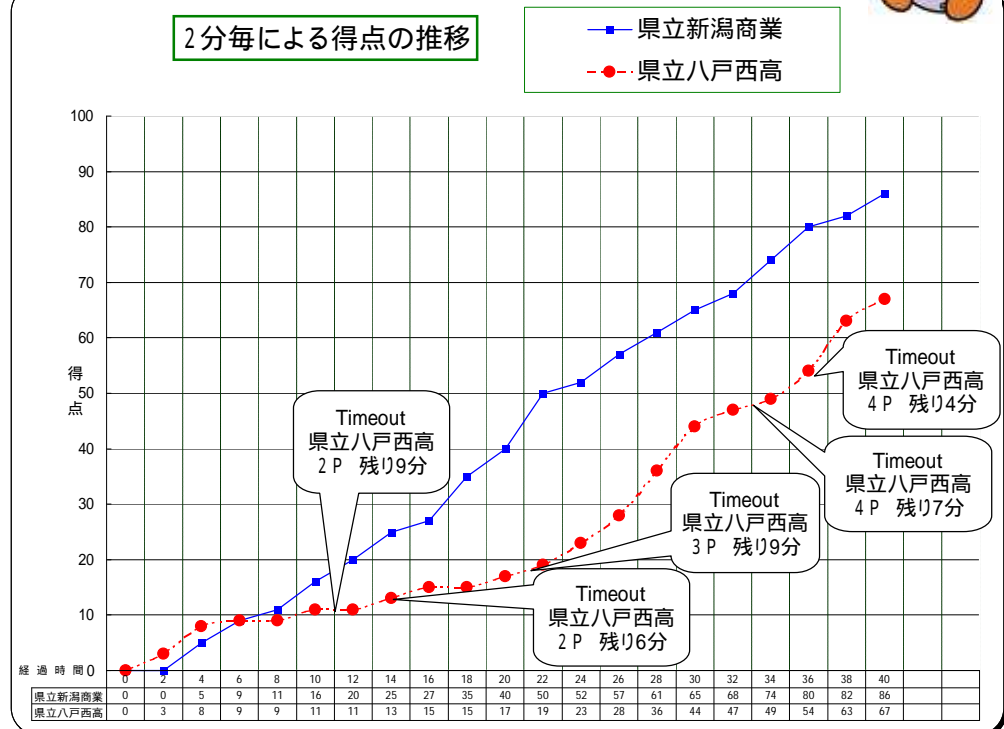
県立新潟商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	横坂 健人	X	13	3	6	2	3	0	0	2	0	6	7	4	2	1	29
5	近藤 大	X	4	0	4	1	2	2	3	1	2	4	1	1	4	1	21
6	山崎 将也	X	21	1	3	6	12	6	7	2	2	5	1	1	5	2	31
7	五十嵐 良心	/	1	0	2	0	4	1	2	3	0	4	1	1	1	0	13
8	佐藤 圭汰	/	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
9	小野寺 弘晃	X	2	0	3	1	3	0	0	4	2	4	3	1	1	1	20
10	田村 亮	/	8	0	0	4	5	0	0	2	2	1	1	0	0	0	11
11	青山 充	/	5	1	4	0	1	2	2	1	2	0	1	2	1	0	22
12	新保 寛人	X	27	5	8	6	7	0	0	3	0	3	3	1	0	1	28
13	佐藤 寛人	/	3	0	0	0	1	3	6	5	0	0	1	1	2	1	7
14	岩淵 俊紀	/	0	0	1	0	2	0	3	2	0	0	3	1	4	0	13
15	村越 俊紀	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	中屋 廣昭										0	3	4				
出場: ×は先発、/は出場			86	10	32	21	41	14	23	26	13	31	22	13	20	7	200
			確率	31.3%		51.2%		60.9%			計 44						

県立八戸西高

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	吉田 竜二	X	6	0	0	3	7	0	0	5	1	3	4	0	2	0	24
5	吉田 航太	X	14	1	1	4	7	3	5	2	2	4	4	2	1	1	24
6	荒木 貴博	X	7	0	5	2	8	3	3	2	1	3	2	0	1	0	35
7	中里 悠司	X	23	6	15	0	1	5	5	2	0	3	6	4	3	0	37
8	金谷 友裕	/	4	0	2	1	1	2	2	2	0	0	2	1	1	0	17
9	今 友也	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
10	高村 甲	/	4	0	0	2	3	0	3	1	0	2	2	3	2	0	13
11	佐藤 昂輝	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
12	類家 秀嗣	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	越後 毅史	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	佐々木 悠悟	/	9	0	0	2	7	5	8	2	3	2	1	3	1	0	22
15	下山 貴裕	X	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5	3	0	1	3	21
コーチ	越 秀昭										0	2	5				
出場: ×は先発、/は出場			67	7	23	14	34	18	26	20	9	27	24	13	13	4	200
			確率	30.4%		41.2%		69.2%			計 36						

2分毎による得点の推移



戦評

激しいディフェンスが持ち味である全国常連の新潟商業と、初出場ながら圧倒的な強さで予選を突破した八戸西との戦いとなった。
第1P、新潟商業オールコートマンツーマン、八戸西3-2ゾーンディフェンスでスタート。両チームともに固さからミスが目立ちなかなか点数に結びつかない。八戸西も2-2-1のオールコートゾーンプレスで、速攻のチャンスを作ろうとするが、ロースコアのピリオドとなった。
第2P、八戸西は相手の激しい守りに自分達のプレイが出来ないのに対し、新潟商業は#12新保の連続得点からリズムを掴み始め、残り2分速攻から#4横坂の3Pなどで一気に突き放す。
第3P、八戸西のゾーンプレスもようやく足が動き始め、#10高村のスティール、#7中里の3Pなどで反撃を開始するも、要所では新潟商業#4横坂が3Pを沈めるなどの追い上げを許さない。
第4P、八戸西はオールコートのゾーンプレスからハーフコートにおいてトラップをしかけ、徹底してボールを奪いに行くが、新潟商業も、ディフェンスのあたりを緩めることなく、ディフェンスでの新潟の勝利となった。

主審	内藤 学	副審	宮下 純	戦評	佐野 正 (埼玉県高体連)
----	------	----	------	----	---------------